

2009年6月4日

自由民主党幹事長
細田 博之 様

民主党役員室担当
平野 博文

拝復

細田博之自由民主党幹事長におかれましては、政権党のトップマネージャーとしての日々のご活躍に心から敬意を表します。

さっそくですが、このたびいただきました質問状につきまして、まことに僭越ながらわが党の職掌分担上、小職からお答えをさせていただきます。

そもそも、党首討論はあくまで国会の正式な常任委員会である国家基本政策委員会における党首同士のものであり、恐縮ながら党首同士の国会討論の後に、代理の方から不躰に質問状をいただいたことに戸惑いを禁じえません。

また、貴党は最近なにかとHPや広告等を含め質問状戦術にご熱心なようですが、これはかつて野党が国会閉会中に論戦を行えないときなどに常用した戦術と記憶しており、歴史と伝統ある貴党の旧態野党ばりの「常軌を逸した」「プロパガンダ」に驚いております。しかし、せつかく会期延長を強行されたのですから、党利党略による一方的なペーパーの発信を繰り返すのではなく、延長の必要性と理由を国民に対して十分に説明したうえで、国会に議席を占める政党として、開かれた国会の場で大いに論戦を行うべきと考えます。

さらに、ご指摘の平成20年衆議院予備調査第3号報告書は、法にもとづき衆議院内閣委員会が議決した予備的調査命令により、立法府が行政府に正式に協力を求め作成した報告書であることに留意しつつ、まさに国会で議論することが至当であると考えます。

政権党幹事長としてご多忙にもかかわらず、せつかくいただきましたご質問ですが、以上お答えとさせていただきます。

時節から益々のご活躍とご自愛のほどお祈りいたします。

敬具